

# 2 鎌倉中央地域 地域別方針

目標における網掛け部分と具体的な取り組みにおける太字部分は平成16年度に追加・修正した部分です。  
また★印は重点的に取り組む内容です。



## まちづくりの基本的考え方

- 豊かな緑と一体となった古都の歴史的環境を大切にし、まち並みにさらに磨きをかける。
- 市民にも、訪れる人々にも快適なまちづくりを進める。
- 限りあるまちの空間を有効に活かし、魅力的にするため、ハード面の整備とともにソフト面を重視する。
- 市民の主体的な取り組みを支援していく。

### 目標



#### 目標①

中心部の景観の保全・創造と、魅力ある商業地環境の整備

①鎌倉駅周辺や若宮大路は、古都の中心部にふさわしいまち並みとしていく

### 具体的な取り組み

- 若宮大路沿道のまち並み形成・緑の充実
- 三の鳥居～北鎌倉駅方面沿道のまち並み形成
- 駅周辺商店街の個性を活かしたまち並み整備
- まち並み形成のルールづくり（**景観法の活用など**）
- 市役所、御成小周辺公共空間の整備
- 駅前整備の推進**

②商業地域及びその周辺は、市民・観光客に快適で魅力ある空間としていく

- 駅周辺商業地の環境整備（**楽しめる広場や道の整備等**）
- 住宅地と調和した商業施設の環境形成
- 周辺の住環境と調和した商業地の形成

#### 目標②

自然や歴史的環境の保全・活用と鎌倉らしい住宅地環境の保全・形成

①山並みの緑や滑川などの自然環境を大切にし、緑や水にふれあう場をつくる

- 古都保存法による緑の保全
- 自然的公園としての緑の保全・活用（源氏山）
- 斜面林の保全・回復（斜面保護工事への自然工法の採用、緑化等）
- 河川其自然回復と環境保全・親水化（滑川）

②鎌倉を特徴づける歴史的・文化的資源を守り、活かしていく

- 歴史と文化を訪ね歩くネットワークの整備
- ★洋館・和風建築物等の保全・活用（旧川喜多邸、旧安保小児科医院、鎌倉聖ミカエル教会など）
- その他歴史的遺産の保全・活用（社寺・遺跡及び御谷等）

③自然や歴史的環境と調和した、鎌倉らしい良好な住宅地の環境を保全していく

- 谷戸の低層住宅地の環境保全
- 市街地の良好な低層を主体とした住宅地の環境保全
- 主要道路沿道の住宅地の環境形成
- 地域防災拠点の整備、避難路確保等

#### 目標③

自動車利用を抑制し、徒歩と公共交通を主体とした交通システムへの改善

①古都の環境と市民の生活を守るため、自動車利用を抑制する交通需要管理を検討・実施していく

- 交通需要管理の検討と実施

②渋滞軽減のため、道路の改善や必要な施設整備、ソフトの充実を進める

- 地域間を結ぶ主要道路の整備・改善（交差点改善、信号改善、歩道の整備・充実等）
- ★由比ガ浜関谷線の再検討
- 自転車か走りやすい道路網整備

③誰にも歩きやすい道づくり、バスサービス等公共交通の充実を進める

- ★**誰もが利用しやすい歩行者ネットワークの整備**
- 生活道路の環境改善（歩行者優先道路化等）
- ★**路地空間の保全・活用**
- ハイキングコースの充実
- バスサービスの充実

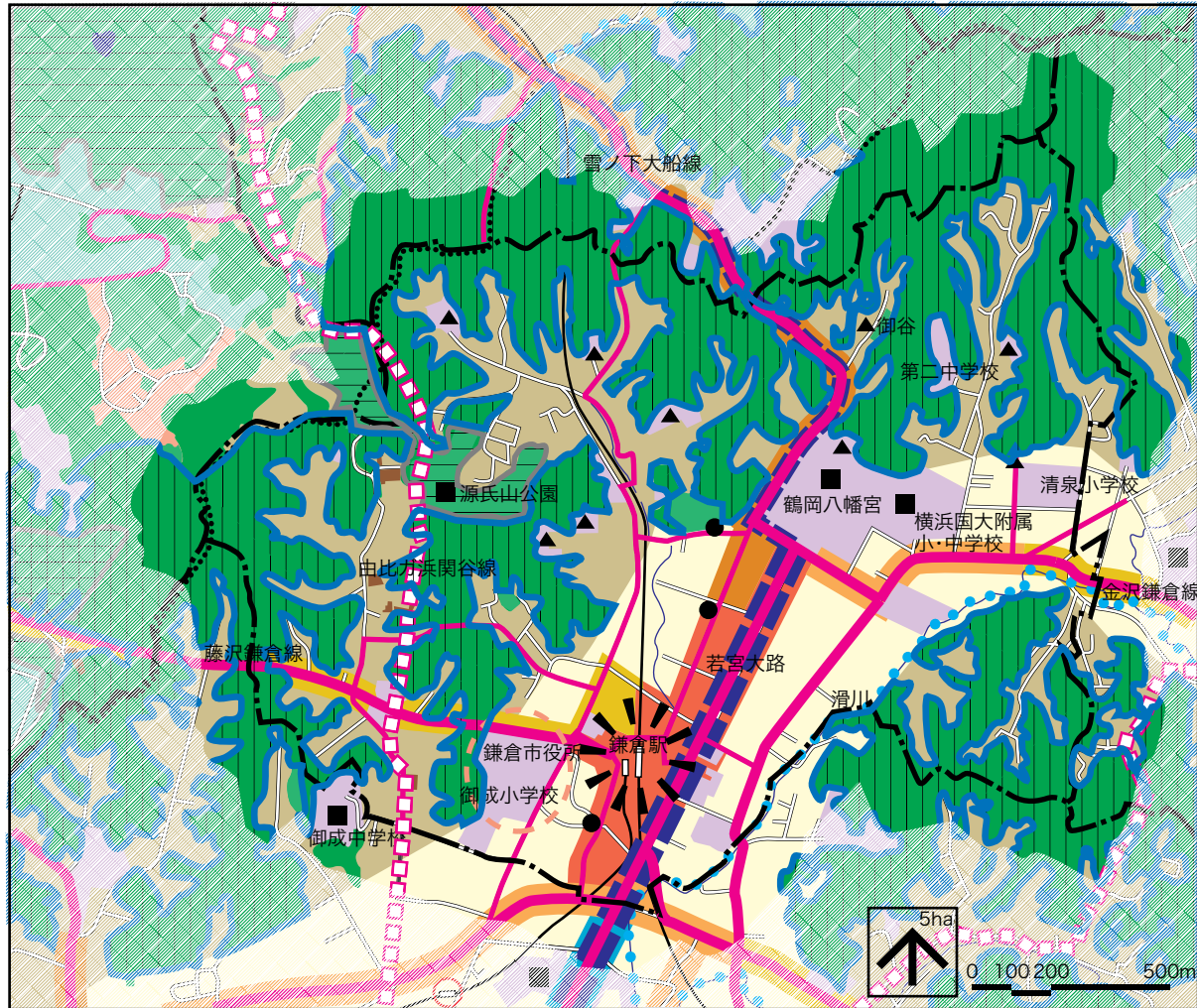
④駅前広場や商業地周辺の交通問題・駐車場問題を改善していく

- 駅西口・東口の駅前広場及び周辺の整備（交通動線の整理、ミニバス発着所等）
- バリアフリー化の推進
- 中心商店街の駐車場のあり方の検討
- 駐車場の確保の検討（市役所駐車場の改善を含めた）

⑤道路や駐車場などは、周辺環境との調和に配慮し、既存の緑の活用や緑化を進める

- 道路・駐車場等の緑化推進

図 地域別方針……鎌倉中央地域



- |  |                         |  |                      |
|--|-------------------------|--|----------------------|
|  | 古都保存法による緑の保全            |  | 地域間を結ぶ主要道路の整備・改善     |
|  | 自然的公園としての緑の保全・活用        |  | 由比ガ浜関谷線の再検討          |
|  | 都市公園等の緑の保全・創出           |  | 生活道路の環境改善            |
|  | 河川の自然回復と環境保全・親水化(滑川)    |  | 若宮大路沿道のまち並み形成・緑の充実   |
|  | 洋館、和風建築物等の保全・活用         |  | 三の鳥居～北鎌倉駅方面沿道のまち並み形成 |
|  | その他歴史的遺産の保全・活用          |  | ハイキングコースの充実          |
|  | 市街地の良好な低層を主体とした住宅地の環境保全 |  | 駅周辺商業地の環境整備          |
|  | 谷戸の低層住宅地の環境保全           |  | 市役所、御成小学校周辺の公共空間の整備  |
|  | 主要道路沿道の住宅地の環境形成         |  | 地域の防災やコミュニティ拠点の整備    |
|  | 駅周辺商店街の個性を活かしたまち並み整備    |  | 生産緑地地区               |
|  | 周辺の住環境と調和した商業地の形成       |  |                      |
|  | 住宅地と調和した商業施設の環境形成       |  |                      |
|  | 公共公益施設等(開放・緑化等)         |  |                      |

## 1. 地域の特性

- 三方を緑豊かな丘陵で囲まれた市街地に、鶴岡八幡宮をはじめとする数多くの歴史的遺産が点在しており、古都鎌倉のイメージを最も強く残している地域です。
- 鎌倉駅周辺と若宮大路沿いに事業所・商業施設等が集積しています。

## 2. 主な動向と取り組み

地域別の方針(本編 134 ページ)に掲げる3つの目標についての主な動向と取り組みは次のとおりです。

### 目標① 中心部の景観の保全・創造と、魅力ある商業地環境の整備

- 段葛が歴史的風土保存区域に指定されました(H12.3)。
- 鎌倉駅周辺市街地のまちづくりを進めるため、市民参画のもと「古都中心市街地まちづくり構想」を策定し(H12.8)、その構想に基づいて、「鎌倉駅西口周辺まちづくり基本計画」を策定しました(H14.7)。現在、古都中心市街地まちづくり協議会や事業化推進部会等において実施に向けた検討を進めています。
- 鎌倉の世界遺産登録を目指した準備を進めており、その核となる歴史的遺産の周辺部には適切な範囲でバッファゾーン※が必要になります。

※歴史的遺産の価値や環境を保護するために、その遺産の周囲に設けられる利用制限区域。内容としては、法令による建築物の高さ制限等があります。

### 目標②

### 自然や歴史的環境の保全・活用と鎌倉らしい住宅地環境の保全・形成

- 川喜多記念館建設等基金の設置及び旧川喜多邸の暫定公開を行っています。また同記念館の規模・運営形態についての検討を行っています。

### 目標③

### 自動車利用を抑制し、徒歩と公共交通を主体とした交通システムへの改善

- 平成12年に江ノ島電鉄によるバス路線(鎌倉駅西口～桔梗山)と京浜急行によるバス路線(鎌倉駅西口～山の上ロータリー)が整備されました。
- 平成13年に七里ガ浜パークアンドレールライド、由比ガ浜パークアンドライド、鎌倉フリー環境手形、由比ガ浜地下駐車場～鶴岡八幡宮シャトルバスの運行、鎌倉参道線でのバス優先レーンの設置等の交通需要管理施策が行われています。
- また、これらの経験の蓄積をもとに、鎌倉地域交通計画研究会から鎌倉地域の地区交通に関する提言(その2)が出されました(H13.9)。
- その後、研究会の提言を引き継いだ鎌倉市交通政策研究会が鎌倉地域情報提供調査(社会実験)を実施しました(H15.11)。
- 交通バリアフリー法に基づく移動円滑化基本構想を策定し(H15.10)、鎌倉駅周辺を重点整備地区に指定しています。

### 3. 重点的に取り組む内容

古都鎌倉のイメージを最も強く残している地域の特性を守るために、中心部の景観の保全・創造と、魅力ある商業地環境の整備や交通システムの検討が必要です。

重点

#### 1) 若宮大路沿道の景観形成、周辺環境の総合的な整備

- 歴史的風土保存区域である段葛を含む若宮大路沿道及び本地域の風致地区に指定されていない地域については、古都鎌倉のまち並みを形成するため、建築物の高さを15m以下とする指導を行っていますが、法的拘束力を持つまち並み形成（建築物の高さ等）のルールづくりに取り組みます。
- “歩く観光”を推進する視点から、観光案内サインの整備、休憩空間としての歩道の再整備、トイレ・駐輪施設等便益施設の整備を図り、歴史・文化・自然を訪ね歩くネットワークを形成します。

重点

#### 2) 市民・観光客にとって魅力ある商店街の整備

- 小町通りについては、観光客のみならず市民にとっても個性を活かした魅力ある商店街となるための誘導を行うとともに、無電柱化事業を行います。

重点

#### 3) 旧川喜多邸の整備

- （仮称）川喜多記念館の建設に向けて、引き続き民間活力の導入等を含めて検討を行います。

重点

#### 4) 鎌倉駅周辺地区整備の推進

- 鎌倉駅周辺地区は、まちづくり交付金制度における都市再生整備計画に基づく総合的な整備についての検討を進めます。
- 特に西口周辺については、駅前ミニバス乗降場の設置、市役所前交差点の改良等、市民・来訪者が快適に過ごせる、古都鎌倉の顔としての駅前空間の再編を図ります。

重点

#### 5) 路地空間の景観保全

- 鎌倉の暮らしを感じる貴重な地域資源となっている路地空間のあり方について、緊急時や防災面も考慮して検討します。また、板塀や生垣等のしつらえ方等、沿道のまち並み景観の保全、活用方法について検討します。

重点

#### 6) 交通問題の検討

- 都市計画道路 由比が浜関谷線については、本市の重要な歴史的景観及び緑の保全、全体の交通ネットワーク等を考慮し、そのあり方について再検討します。

#### ソフト面の取り組み

- 商業者による環境整備のルールづくり（路上の商品・看板整理、商品搬入時間のルール化等）
- 防災、避難システムの整備・推進

#### 検討課題

- 市民利用施設の整備（老人ホーム、緑地等）
- 市庁舎の今後のあり方
- 横須賀線の地下化と地上部の東西連絡強化
- 軌道系公共交通の充実（路面電車等）（鎌倉・深沢・大船をリンクする）
- 農協連即売所の活用